



元気いっぱい、笑顔いっぱい、活力みなぎる 朝二の子

朝霞第二小だより



【学校教育目標】 進んで学習する子(知) 仲良く助け合う子(徳) 健康で明るい子(体)

〒351-0007 朝霞市岡3丁目16番13号 TEL 048-461-0042 FAX 048-467-4735

E-mail 2shou@asaka-c.ed.jp ホームページ <http://www.asakadai2shou.city-asaka.ed.jp>

令和3年10月29日(11月号) 児童数 716名 (10/28現在)

「埼玉・教育ふれあい賞」を受賞

— 二つの嬉しい知らせ —
校長 谷井 喜信



明日は、運動発表会です。子供達は、お家の方に活躍する姿を見てもらおうと、一生懸命に練習してきました。PTA除草作業できれいになった環境の下、徒競走や表現・ダンス、リレーにと全力で頑張ってくれることと思います。コロナ禍で大きな声援はできませんが、温かい拍手をよろしくお願いいたします。なお、学校応援団のご協力で運動発表会の様子をライブ配信いたします。ご利用いただければ幸いです。



さて、嬉しい知らせが飛び込んできました。

一つは、本校が令和3年度「埼玉・教育ふれあい賞」に選出されました。この受賞は、学校応援団との連携を生かした学校教育を推進し、学校・家庭・地域が一体となって心豊かな児童の育成に成果を上げていることが評価されたものです。本校では、平成19年に学校応援団地域連携事業がスタートし、平成22年にも同賞を受賞しています。地域の学校として、保護者・地域の皆様から愛され、二小児童の健やかな成長に向けて多大なるご支援ご協力をいただいておりますことに改めて感謝申し上げます。来年度本校は創立150周年を迎えます。150周年記念事業に向けての準備を進めております。変わらぬご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



もう一つの嬉しい知らせは、スウェーデンの王立科学アカデミーが今年5日、2021年のノーベル物理学賞を、真鍋淑郎(まなべしゅくろう)氏(米プリンストン大上席研究員)に授与すると発表したことです。同じ日本人として大変名誉なことです。受賞理由は「地球温暖化を予測する地球気候モデルの開発」で、先駆的な研究が高く評価されたとのこと。真鍋氏は報道陣からのインタビューで、「外に出て気候がどうなっているかを肌で感じることで、何にでも好奇心を持つことが肝心だ。気候問題に、60年間夢中になってやってきた。自分が好奇心をもつような研究をやるのが大切だ。」と話されていました。今世界では大洪水や干ばつ、山火事や熱波などの気候変動が大きな問題になっています。私たちが住んでいる日本でも、大雨や大型台風による自然災害が毎年のように起きています。政府は昨年、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」を達成する目標を掲げました。私たちが住んでいるこの美しい地球を守り、後の世代に残すためにも、節電や節水、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の取組、マイバッグやマイペットボトルの実践など、地球環境の保全に向けて今できることから取り組んでまいりましょう。

5年生は2学期の総合的な学習の時間で環境問題をテーマに取り組んでいます。1回目のゲストティーチャーは、埼玉県地球温暖化防止活動推進員の清水様です。事前に作成いただいたたくさんのパネル資料を見ながら地球温暖化の原因や温暖化による影響など、子供達は地球環境が直面する課題について多くのことを学ぶことができました。



2回目は、「パナソニック(株)」から講師をお招きして、「エコと太陽光発電教室」を行いました。学校では用意が難しい実験器具を使って、発電方法の違いや太陽光発電のしくみについて学び、中でも10人が1グループになっての手回し発電機の実験は大いに盛り上がりました。お家でのエコ活動の取組は「エコチャレンジシート」に記入します。この学習をきっかけに、節電に向けた取組が習慣化するといいなと思います。

3回目は、公益財団法人「古紙再生促進センター」の方にお越しいただき、「紙のリサイクル」の講義と実習を行いました。講義では、講師と各クラスをオンラインでつなぎ、古紙をリサイクルする意義や分別の必要性などについて、〇×クイズやアニメ映像を見ながら楽しく学習していました。実習では、古紙から「はがき」を作るという活動に取り組みました。目の前でちぎった古紙がはがきに生まれ変わる様子に、あちこちから歓声が沸き起こっていました。



このような総合的な学習の時間での学びを通して、これからの次代を担う子供達が、地球環境にやさしい行動を実践していく生活スタイル(エコライフ)を身に付けてほしいと思っています。